

Smile Woman!
インタビュー①この人の仕事のかたち
どこか輝いて見える「仕事」をしているあの人にズームアップ。

Satomi Yoshida

「器文化」を 広く皆さまへ

岡山市大元地区にある「遊器ギャラリー岡山本店」は、全国の作家・窯元から独自に買い付けした陶器やガラス器、漆器などを展示販売する食器のセレクトショップ。同店では、さまざまな作家さんの特設展やイベントを定期的に開催し、また毎日の暮らしを楽しむためのテーブルコーディネートを多彩に提案して人気を集めている。吉田悟美さんは店舗の責任者として、店頭でのお客さまの接遇や商品提案を行い、また新しい作家・窯元の開拓や商品の買い付けのため全国を飛び回って活躍する。

◎ インテリアコーディネーター から食器の世界へ

自分らしく、心豊かに暮らすことの興味から、インテリアを学んでいた吉田さん。もともと陶芸やテーブルコーディネートに興味があったわけではなかった。「学校に当店のオープニングスタッフの求人があり、最初は『なぜ食器店にインテリアコーディネーター?』と思いましたが、だからこそ『面白そう』と応募したんです」とこの世界に入ったきっかけを振り返る。その一方、入店後は自らも食器の魅力に強く惹き込まれていったという。また、オープン当初、当店は業務用食器の小売を行っていましたが、一点もの手づくりの器を扱いたいと社長に直談判し、また全国の作家さん・窯元を訪ね歩いて商品を買付けたりするうちに、現在の形態になりました。と、バイタリティに満ちた表情で吉田さんは語る。

◎ 作家さんとお客さまの橋渡しとして

もともとインテリアの専門知識を持ち、また入店後にテーブルアートについても学んでその資格を取得した吉田さん。作家・窯元の「器によせる想い」をお客さまに伝えるとともに、「食生活」と「住生活」の両方の視点から日々の暮らしを豊かにし、「さうかぜ」や具体的「アイデア」の提案を行うことを大切にしている。おかげさまで当店は、オープン当初からかわいがられてきたというお客さまも多いです。作家さんともしかりと「はたらき」信頼関係を積み重ねています。と吉田さんは目を細める。「器は料理の着物」とは良く聞く言葉だが、同店は料理やテーブルコーディネートにたわる一般のお客さまはもちろん、プロの料理人やインテリアの業界人からも目置かれる存在となっているものも少なくない。

◎ 25周年をむかえ更なる進化を

遊器ギャラリーは平成2年にオープンし、この春25周年の節目をむかえた。これを機に、新しい作家さんとのコラボレーションや、新機種の展示会も計画している。店内にはカフェスペースも併設されていて、気軽に立ち寄れる雰囲気なので、興味のある方はぜひ訪れてみては。

遊器ギャラリー岡山本店
店長

吉田 悟美さん

☎086-244-1114
▲岡山市北区西宮西町8-17 1F